

桔梗野小学校の建て替え事業について

令和6年2月2日
弘前市教育委員会学校整備課

目次（本日の説明内容）

1. 桔梗野小学校について
2. 事業概要
3. 現在の進捗状況
4. 建て替えの方向性
 - (1) 新校舎・体育館の配置について
 - (2) 新校舎・体育館の特色について
5. 今後のスケジュール

1. 桔梗野小学校について ~沿革・在籍児童数~

主な沿革（学校施設等）

昭和24年 4月	第二朝陽小学校として開校
昭和24年 9月	桔梗野小学校に改称
昭和45年3月～ 昭和47年12月	管理・普通・特別教室棟、体育館 新築
昭和50年 7月	中庭にプール完成
昭和54年 9月	図書室増築
令和 元年10月	創立70周年記念式典

●在籍児童数（令和5年5月1日現在）

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 さわやか	特別支援 すこやか	計
男	36	21	18	20	26	29	11	7	168
女	16	21	22	22	15	20	3	1	120
計	52	42	40	42	41	49	14	8	288

1. 桔梗野小学校について ~学校施設の概要~

	校舎	屋内運動場
建物敷地面積： 7,229㎡ 運動場面積： 14,510㎡		
建築年	昭和46年（最も古い棟）	昭和47年
築年数	53年（最も古い棟）	52年
構造及び階数	鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造	鉄骨造
階数	3階建	2階建
延べ面積	4,312㎡	734㎡
健全度※	平均37 / 100点（広範囲に劣化）	37 / 100点（広範囲に劣化）

※各建物の屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標で、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

1. 桔梗野小学校について ~校舎・屋内運動場の現況(外部)~

(1) 校舎



(2) 屋内運動場



1. 桔梗野小学校について ~校舎・屋内運動場の現況(内部)~

(1) 校舎



(2) 屋内運動場



1. 桔梗野小学校について ~避難所の指定状況~

施設名	指定緊急避難場所 ※1 ○:避難可能 ×:避難不可					指定避難所 ※2
	洪水	土砂	地震	火事	火山	
桔梗野小学校	○	○	○	×	○	○
桔梗野小学校グラウンド	○	○	○	○	×	—

※1 指定緊急避難場所:危険が切迫した際に一時的に避難して自分の命を守る場所

※2 指定避難所:家屋等が被災した場合に被災者が避難生活を送ることができる施設

施設名	土砂災害・洪水による避難勧告等の発令した際に 市が開設する予定の避難所						地震時に市が開設 する予定の避難所 (震度6弱以上)
	土砂災害	岩木川	平川	腰巻川	後長根川	大峰川	
桔梗野小学校	●	●	○	○			発生直後に開設

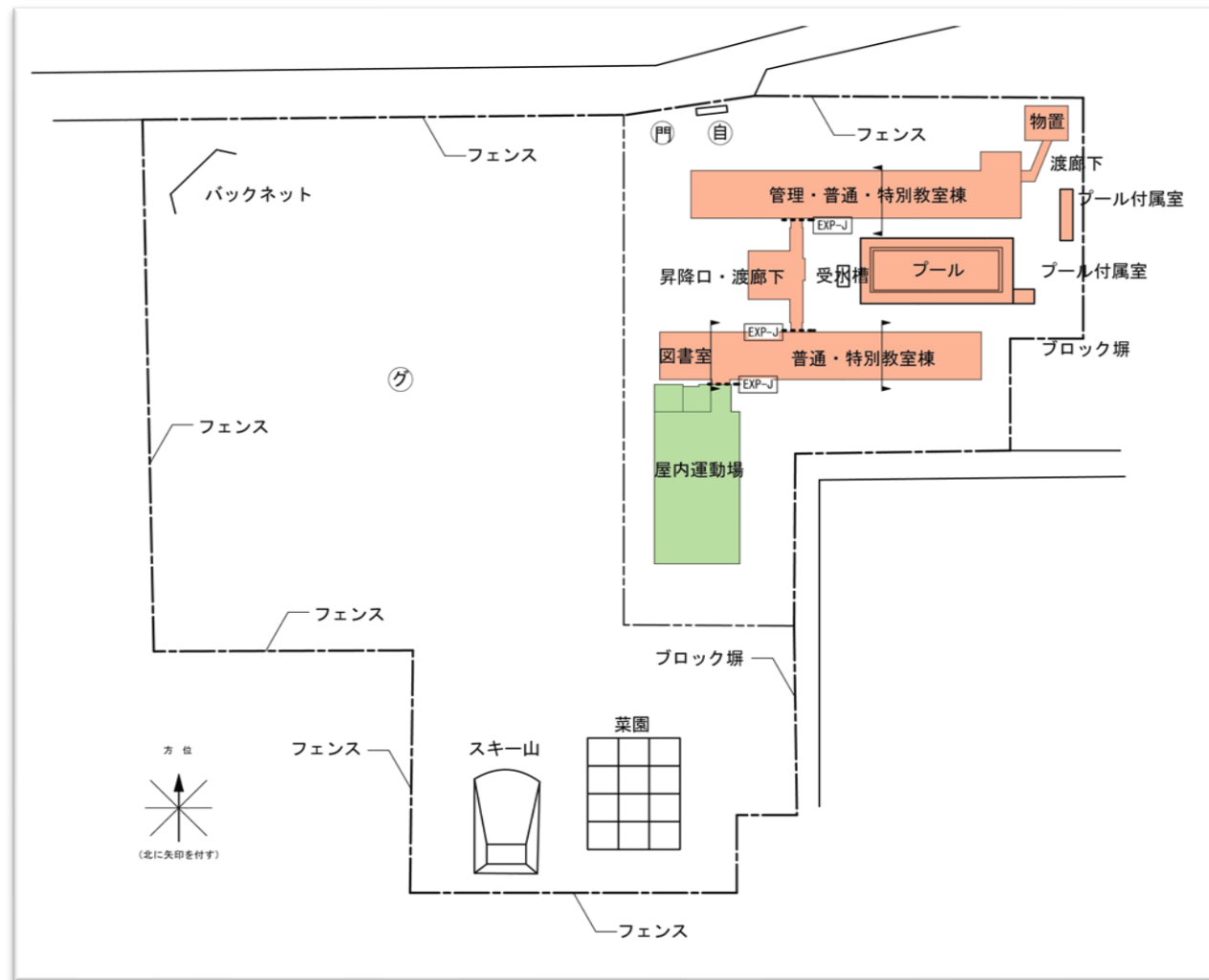
2. 事業概要

● 築50年以上が経過し、柱や梁などの建物の躯体部分をはじめ、屋根、外壁、設備などの老朽化が進んでいる「校舎・屋内運動場」の建て替えを行い、教育環境の改善を図ります。

● 学校の建て替えにあわせて、『地域コミュニティの拠点となる公共施設（地域コミュニティ施設）』を複合化、整備する。

● 建て替え後の小学校において、引き続き桔梗野なかよし会を実施する。

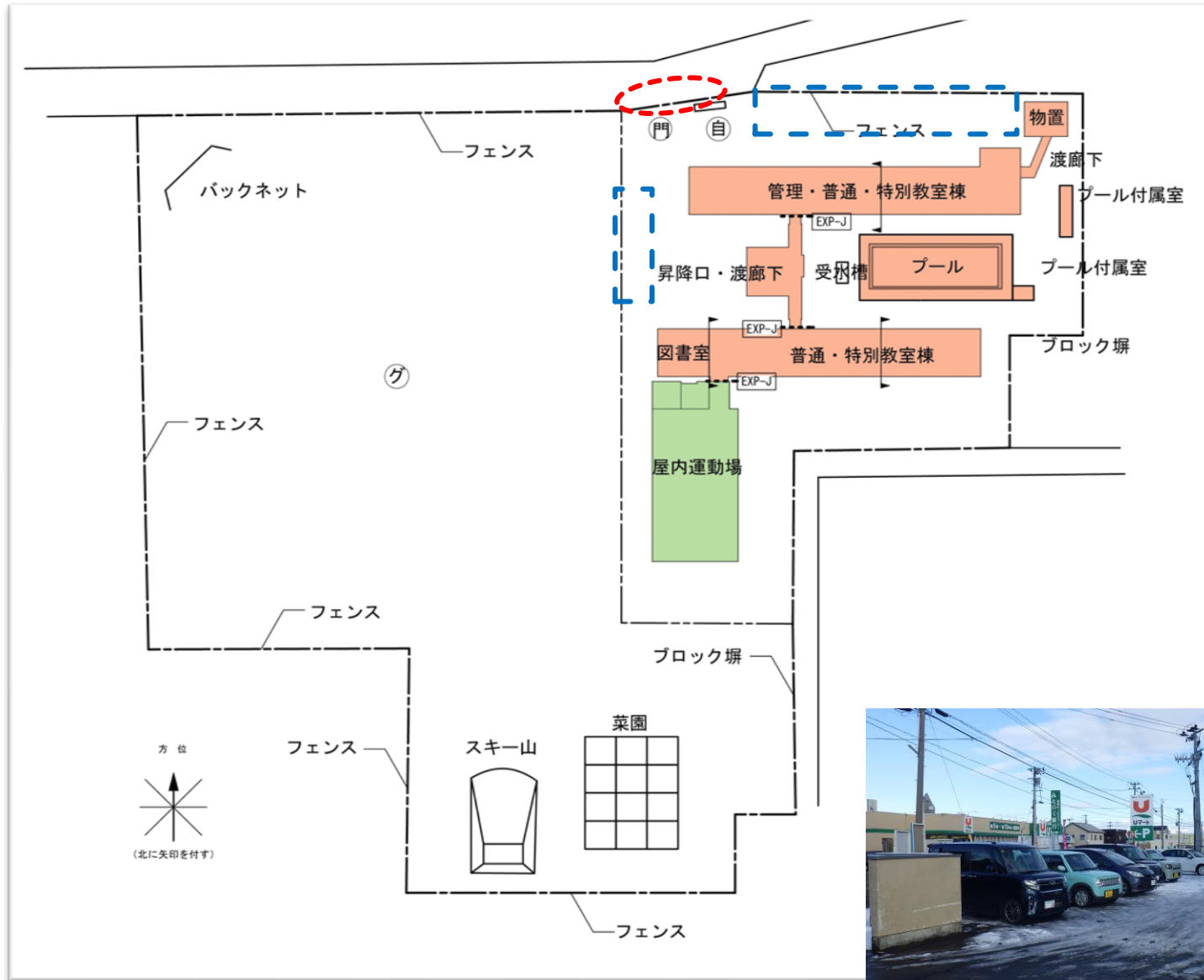
桔梗野小学校配置図



3. 現在の進捗状況

- 建物の劣化状況を把握するため、**耐力度調査**を実施しています。
※耐力度調査とは、建物の構造耐力、経年による耐力・機能の低下、立地条件による影響の3項目を調査し、建物の老朽化を総合的に評価するものです。
- 学校関係者や地域の皆さんがどのような学校を望んでいるか把握するため、**アンケート**を実施しています。
<対象者>
桔梗野小学校関係者（児童、保護者、教職員、学校運営協議会委員）
桔梗野地区の各町会
- 桔梗野小学校建て替えに係る「**基本構想**」を策定中。

4. 建て替えの方向性 ~配置について(1/2)~



校門
(校舎側から)



駐車場
(昇降口前)



駐車場(道路側)



4. 建て替えの方向性 ~配置について(2/2)~

- 桔梗野小学校の新校舎・新体育館は、現在の学校敷地内に建設する予定です。
- 駐車場が狭いなどの課題を踏まえ、新校舎・新体育館の配置を検討するうえで、以下の項目に配慮が必要であると考えております。

1. 広く使いやすい駐車場

2. 積雪対策

(落雪事故防止や堆雪スペースの確保 など)

3. 児童の安全に配慮した動線計画

(児童と来校者車両の経路を切り分ける など)

4. 児童や来校者のアクセス性の向上

(間口の広い校門、車両入口の増設 など)



4. 建て替えの方向性 ～学校の特色について～

●文部科学省が示す「学校施設整備において重点化すべき方向性」から、桔梗野小学校の建設にあたって、以下の項目が大切であると考えています。

1. 防犯設備が整い、児童が安心して過ごせる学校
2. 多様な学習活動等に柔軟に対応できる学習・執務空間の整備
3. スロープ、多機能トイレ、エレベーター等の設置によるバリアフリー化
4. 悩みをもつ児童や保護者が、学習指導や教育相談などの支援を受けやすい環境
5. 地域の避難場所として利用されることを想定した性能・機能を備えた学校
6. 地域の人たちが立ち寄りやすい、開かれた学校
7. ユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが「使いやすい・わかりやすい」と感じる学校
8. 障がいのある児童と障がいのない児童とが、交流及び共同学習を行うことができる環境
9. 柱や壁、天井、床などに木材を使用し、快適で温かみのある生活空間の整備
10. 高効率設備による省エネルギー化や太陽光発電システム等の創エネルギー設備の導入
11. 学校の歴史・思い出を伝えていく工夫
12. 高機能換気設備や自動水栓の導入など、感染症対策の強化

4. 建て替えの方向性 ～新校舎の特色について(参考)～

※イメージ例(文部科学省:新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方)



1人1台端末環境等に対応した
ゆとりのある教室の整備



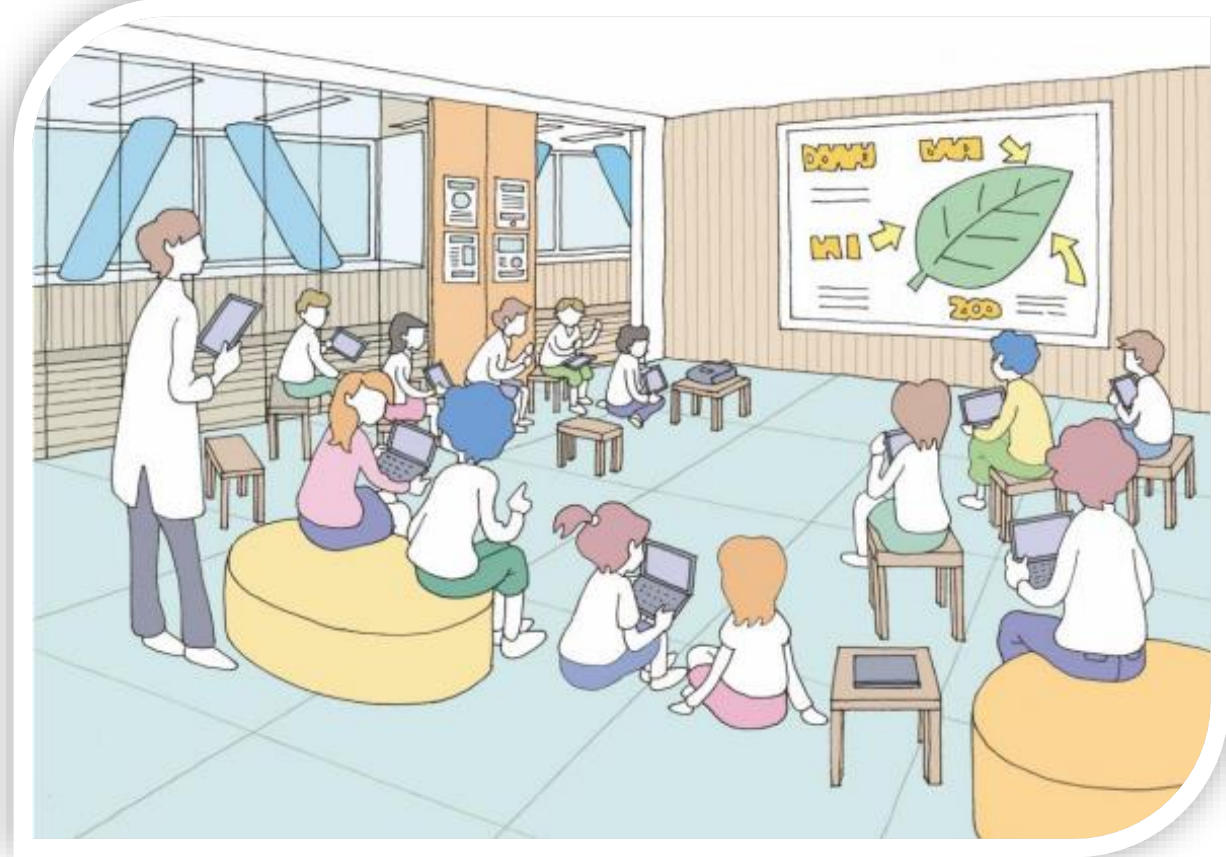
多目的スペースの活用による
多様な学習活動への柔軟な対応

4. 建て替えの方向性 ~新校舎の特色について(参考)~

※イメージ例(文部科学省:新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方)



単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるように、創造的な空間に転換していく



木材を活用し温かみのあるリビングのような空間の中で、壁面の工夫やベンチ等を配置し、豊かな学び・生活の場としていく

4. 建て替えの方向性 ～新校舎の特色について(参考)～

※イメージ例(文部科学省:新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方)



地域の避難所として、バリアフリー化、水害対策など防災機能を一層強化するとともに、居住性を確保



省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入等により、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たす

5. 今後のスケジュール(1/2)

スケジュール	事業の流れ
令和6年1月～ 令和6年5月 【5か月】	<ul style="list-style-type: none">● 基本構想の策定<ul style="list-style-type: none">・ 基本構想とは、どのような学校とするかを定める基本方針です。・ アンケートの集計結果や桔梗野小学校の学校経営方針などを参考にしながら、策定していきます。● 意見交換会（住民説明会）<ul style="list-style-type: none">・ この期間中に、策定途中の素案に対する意見を伺うため、意見交換会（住民説明会）を開催します。
令和6年7月～ 令和6年9月 【3か月】	<ul style="list-style-type: none">● 設計業者の選定<ul style="list-style-type: none">・ 設計を行う業者は、公募により決定します。・ 応募する業者は、基本構想（基本方針）を反映した設計プランを市に提案し、その内容を審査します。・ 審査するのはあくまでも設計プランであり、設計業者の決定をもって新校舎・新体育館の整備内容が確定するものではありません。

5. 今後のスケジュール(2/2)

令和6年10月～
令和8年3月
【18か月】

●業者による設計作業

- ・工事に向け、設計業者が基本構想（基本方針）を具体的にかたちにしていきます。

●意見交換会（ワークショップ）

- ・この期間中に、児童や地域の皆さんの意見をより具体的に取り入れるため、ワークショップを開催します。
- ・ワークショップでは、1つのテーマについて、参加者同士がお互いの考えを共有し理解を深めながら意見交換を行います。

令和8年9月～
令和10年7月
【22か月】

●建替工事

- ・工事車両と児童の動線を切り分けるなど、児童の安全に配慮して工事を進めていきます。
- ・騒音対策や粉塵対策を十分講じるなど、周辺住民の生活に配慮して工事を進めていきます。

令和10年二学期

●供用開始予定

※建替工事の進め方にもよりますが、既存校舎の解体やグラウンドの整備を含めると、すべて完了するのは令和11年度末頃となる見通しです。

ご清聴ありがとうございました。